



えほんだより

令和8年6月

養正保育所

少しずつ汗ばむ日も増え、夏の訪れを感じる季節になってきました。梅雨に入ると外で遊べない日も多くなりますが、そんな時こそ絵本の出番です。今月は雨の日も楽しめるようになる絵本を紹介しています。おうちでも、ゆったりとした絵本の時間を楽しんでみてください。



ぱんだぐみ佐藤先生のおすすめ絵本



作・絵 広野 多珂子
出版社 福音館書店

『おさんぽ おさんぽ』

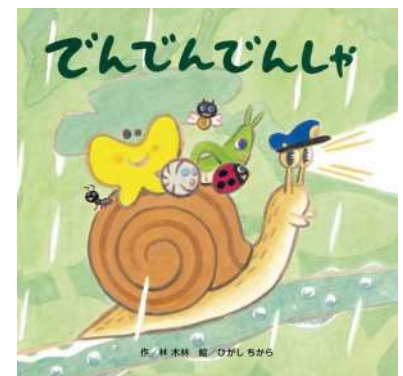
雨の日に履ける長靴。でも雨でなくても履きたがりますよね。この絵本では、長靴を履いて散歩に出かけると今の時期ならではのダンゴムシやカタツムリに出会えます。水たまりをみつけて「バシャ」。長靴だと存分にバシャバシャを楽しめるから長靴ってとっても素敵。そんな子どもの散歩の様子を子どもの目線で描かれていて、大人には懐かしい視界が広がっています。子どもがいつも見ている世界を絵本で一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。



さくらぐみのこどもたちが好きな絵本

『でんでんでんしゃ』

さくらぐみの部屋ではかたつむりを大切に育てています。毎日「あ、うごいたね」「にんじんたべてる」と子どもたちは興味津々で覗き込んでいます。そんな子どもたちに大人気なのが『でんでんでんしゃ』。かたつむりが電車になって、雨の中をのんびり走る楽しいお話です。時には道を間違えたり、のんびり進んだりするでんでんしゃに「そっちいったらあかんよ」とツッコミを入れ、みんなで話しを弾ませながら、楽しんでいます。憂鬱になりがちな雨の日のお出かけも、ちょっぴり楽しみになるような温かい絵本です。



作 林 木林
絵 ひがし ちから
出版社 ひさかたチャイルド

えほんかいようデー

毎月、第一木曜日は「えほんかいようデー」をしています。

幼児：絵本の部屋にその月のおすすめの絵本をならべて紹介します。

乳児：各クラスでその月のおすすめ絵本をならべて紹介します。

「いろいろありすぎてどの本がいいのかわからない」と思っている方も是非この機会を利用してくださいね。